



あなたの実習を成功に導くための Tips



≫ 1 病院、診療・ケアに関心を持つ

診療・ケアに関心を持ち、患者や現場を理解しましょう。
病院や病棟の特性、各職種について調べてみましょう。

≫ 3 身だしなみを整える

清潔な身なりは専門職としての責任感を表します。
身だしなみを整え、ドレスコードを遵守しましょう。衣服だけでなく、髪、爪、装飾品、靴、ニオイにも注意しましょう。

≫ 5 挨拶する

挨拶でのコミュニケーションは重要です。患者、指導者に限らず、実習先での職員に敬意を持って接しましょう。
自己紹介し、日々の挨拶を徹底しましょう。

≫ 7 積極的に参加する

待っているだけでは経験するチャンスを逃してしまいます。
実習中は学びたい姿勢を示すことが重要です。わからないことがあれば自ら考えて調べ、指導者に質問しましょう。

≫ 9 自ら考え、TPOを踏まえて質問する

現場は業務最優先で動いています。質問や相談は、診療・ケアに影響しないタイミングを見計らいましょう。
時間を要しそうな場合は別途時間を貰いましょう。

≫ 11 院内感染対策を遵守する

手指衛生を初めとする標準予防策を全ての患者に行います。
特定の状況では院内ルールにしたがった予防策をとります。

≫ 13 報告・連絡・相談を意識する

指導者への報告・連絡・相談はコミュニケーションの基本です。
自分だけで判断せず、こまめに報告・連絡・相談をしましょう。

≫ 15 ノンテクニカルスキルを向上させる

医療事故の半数以上がコミュニケーション、チームワークといった「ノンテクニカルスキル」の不備で生じます。
情報を正しく伝える・受ける、相手に配慮するといったスキルを磨きましょう。

≫ 17 自身のケアをする

体調管理に努めてください。
実習中に遭遇した出来事に対して心身に負担を感じた場合は、指導者や関係者に伝え、対応を相談しましょう。

≫ 2 実習先などの場所と行き方を確認する

実習先にどうアクセスするのかを確認しましょう。
3階職員食堂、休憩場所（B1 階れんがの庭、2F 手術室近く）は実習着のまま使用できます。

≫ 4 病院職員の一人として振る舞う

患者や家族からは病院の職員としてみられます。
社会人としてのマナー、挨拶、礼節を心掛けましょう。
廊下やバスでも同様です。患者優先で行動しましょう。

≫ 6 基本的な知識・技能を学習し参加する

実習での学びをより効果的にするために、基本的な知識・技能について学習してから参加しましょう。

≫ 8 できないことは正直に伝える

職員や患者に聞かれて答えられないことやできないことは、正直にその旨を伝え、職員に取り次ぎましょう。
自分ができないことを素直に伝えることは重要です。

≫ 10 多職種との協働を経験する

自職種以外の職種からも学び、多職種連携の重要性を理解し、さらには現場での協働を経験しましょう。

≫ 12 医療安全を守る

安全と診療・ケアの質を守る行動をとりましょう。
安全上重要な情報は常に携行し確認できるようにしましょう。
インシデントに遭遇した時は指導者に報告しましょう。

≫ 14 記録を残す

自分の学びとしてだけでなく、何を行って何をしなかったか検証できるようにすることは、自分を守ることにもつながります。

≫ 16 守秘義務を守る

患者情報はもちろん、実習内容や院内で見聞きしたことは全て守秘義務の対象です。院内外の公共スペースやバス車内などの雑談であっても、口外してはいけません。また、運用アカウントが本名・匿名にかかわらず、SNS では発信できません。

≫ 18 振り返りをする

その日の終わりに 1 日の実習で経験したことを言語化して振り返るようにしましょう。

